

この男、

前代未聞。

Salvador Dalí

サルバドール・ダリ

2023

1.14 [sat] → 3.26 [sun]

開館時間 9:30 - 16:30 〈会期中無休〉

弘前市立博物館

青森県弘前市下白銀町1-6 TEL. 0172-35-0700



【交通案内】

■電車・バス / 東北新幹線新青森駅より電車で40分、JR奥羽本線弘前駅下車、駅より土手町循環100円バスで市役所前下車、徒歩5分または弘南バスで市役所前公園入口下車、徒歩5分 ■車 / 東北自動車道大鰐弘前ICより30分 ※博物館専用駐車場はありません。近隣駐車場をご利用ください。

一般 / 800円 (600円)
観覧料 高校生・大学生 / 400円 (300円)
小学生・中学生 / 200円 (100円)

※()内は20名以上の団体料金です。
※65歳以上の弘前市民、弘前市内の小中学生、弘前市内の留学生、ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方は無料となります。
※障がい者手帳をお持ちの方は無料となります。
※本特別企画展開催中は「高岡の森弘前藩歴史館」との共通券は利用できません。

- 主催：弘前市立博物館
- 後援：スペイン大使館 Embajada de España
- 企画協力：株式会社 創絵社



公式WEBサイト
弘前市立博物館



公式インスタグラム
hirosaki_city_museum

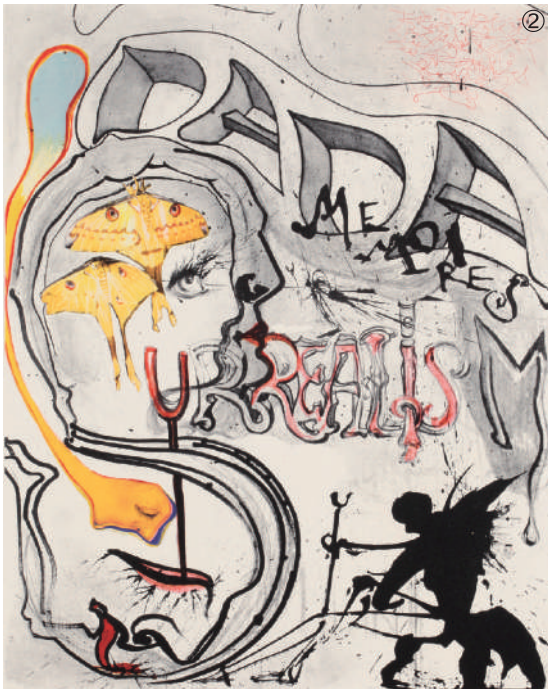
Photo: AFLO

弘前市立博物館

青森県弘前市下白銀町1-6 TEL. 0172-35-0700



①



②



③

- ①「Ultra Surrealist Corpuscular Galutcka」 「ウルトラ・シュルレアリスムの微粒子のガルツカ」
- ②「Angel of Dada Surrealism」 「ダダ・シュルレアリスムの天使」
- ③「The Eye of Surrealist Time」 「シュルレアリスムの時間の目」
- © Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2022 E4998

シュルレアリスムを代表する画家として知られるサルバドール・ダリ(1904-1989)。自らを天才と称したダリは、破天荒な言動で話題を呼び、様々なパフォーマンスを芸術の名において実践しました。ダリの才能は油絵だけにとどまらず、版画、彫刻、オブジェ、舞台芸術、宝石デザイン、広告、映画、文筆と幅広い分野に及び、その大胆かつ奇抜な創造性を見るものを圧倒しました。中でも、50代後半から本格的に取り組んだ版画に対する彼の愛好と造詣は深く、生涯に1600点以上もの版画作品を残しています。「やわらかい時計」「変形した肉体」など、ダリ特有のイメージが継承される一方で、エッチングから描き出す柔らかな線描や卓抜したデッサン力からは、ダリの繊細な感性を垣間見ることができます。

本展では、1960年代から70年代に精力的に制作した版画を中心に、晩年までの作品約200点を展示します。圧倒的な素描力と洞察力をもって制作された作品群を通して、20世紀最大の奇才といわれるダリの真髄をご堪能ください。



2023年
3月12日[日]
14:00~

特別講演会

むらまつ やすはる

村松和明氏
来弘!!

岡崎市美術館 館長、美術史家、作家、キュレーター

愛知県生まれ。武蔵野美術大学卒業。2003年、スペイン政府の給付により渡欧、サルバドール・ダリ、ジョアン・ミロを研究。研究論文をもとに構成されたNHKの特別番組「私が噂のダリである」が国際エミー賞(International Emmy Award 2006)に、ファイナル・ノミネートされる。キュレーションでは「村山槐多の全貌」展が、2011年美連協大賞・奨励賞を受賞。主な著書に『もっと知りたいサルバドール・ダリ生涯と作品』(東京美術)、『ダリをめぐる不思議な旅』(ラビュータ)、『村山槐多全作品集』(求龍堂)、『もっと知りたい村山槐多生涯と作品』(東京美術)、『引き裂かれた絵の真相夭折の天才村山槐多の謎』(講談社) などがある。

「ダリをめぐる不思議な旅」